



クラウドのデータを保護する新ソリューション 「Trend Micro SecureCloud」

草地 慎太郎

トレンドマイクロ株式会社

マーケティング本部 エンタープライズマーケティング部 シニアスペシャリスト

鍵管理サーバとエージェントで構成する

クラウド環境に最適化したデータ保護ソリューション

Trend Micro SecureCloud

- ・クラウド上のデータを暗号化により保護
- ・セキュアな鍵管理 / 配信機能を提供

導入が容易な
SaaS型

管理の手間を
最小化

ユーザは
意識しない

クラウドにデータを預ける不安を解消

トレンドマイクロが考えるクラウドセキュリティ

クラウド インフラストラクチャー



➡クラウドインフラのセキュリティ

エンドポイント レボリューション



➡多様化する端末のセキュリティ

データ中心の防御

Cloud applications	Desktop and business applications Zoho Google
Cloud software development platform	Software platform to host cloud-based enterprise applications Windows Azure Google salesforce.com
Cloud-based infrastructure	Servers, storage, security, databases amazon web services rockspace IBM Sun

クラウドアプリケーション



➡データの場所を問わないセキュリティ ➡クラウドアプリケーションのセキュリティ

パブリッククラウドの導入？

55.5%

クラウドを採用する上でのリスクや障害

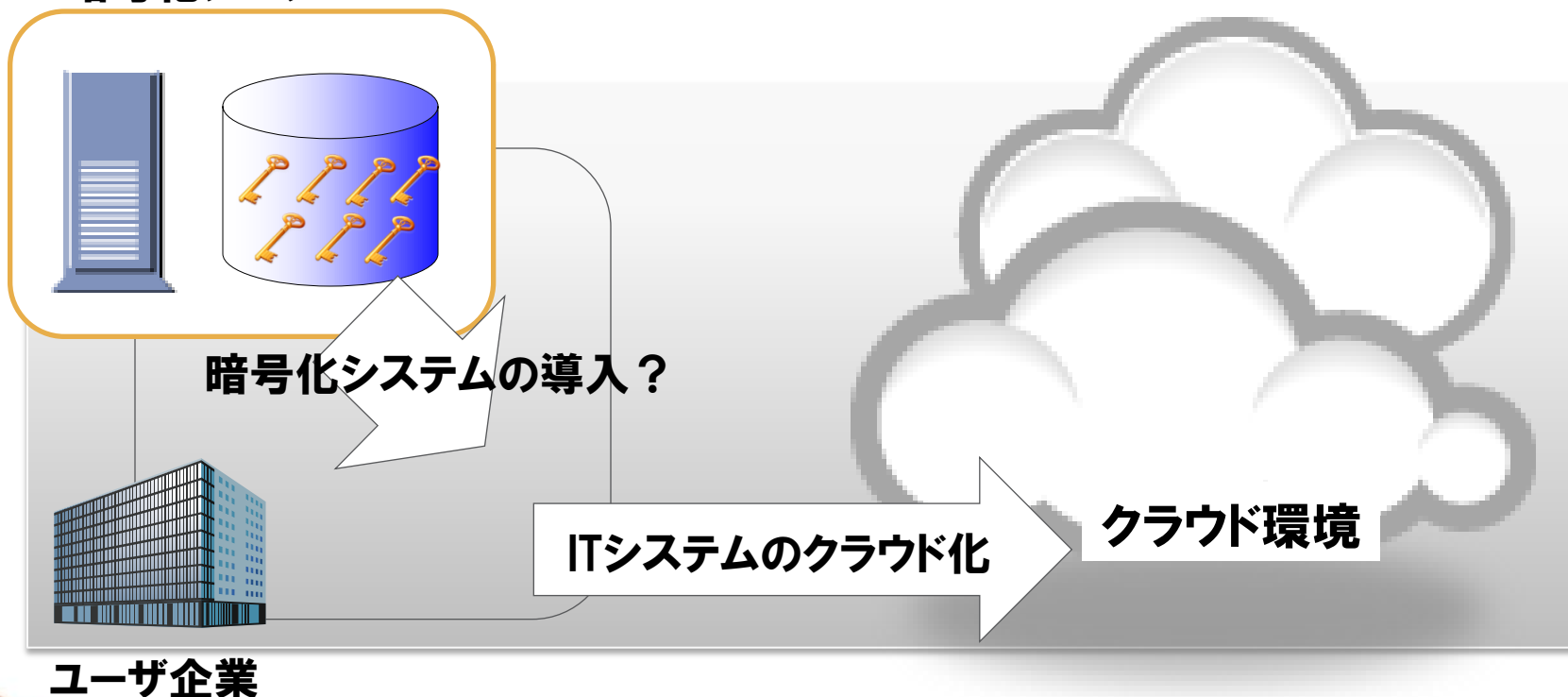
60%

暗号化の課題① 導入の初期投資

暗号化のために初期投資が必要

- ・ソフトウェア/ハードウェアの導入
- ・運用を開始するまでに時間が掛かる
- ・暗号化システムを導入する社内の負荷

暗号化システム



暗号化の課題② 暗号鍵の管理

暗号鍵の管理/運用が複雑

- ・暗号鍵の生成や管理の手間
- ・鍵の保存場所はどこ？ゲストOS上に鍵を保管しても安全？
- ・企業内ユーザに鍵を安全に渡す方法は？
- ・鍵の紛失や漏えいをどうやって防ぐ？

システム管理者

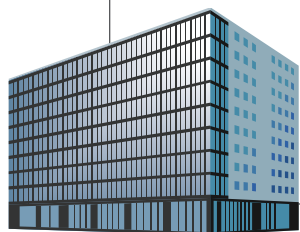


- ・鍵の生成や管理の手間
- ・鍵の紛失や漏えいが心配

企業内ユーザ



- ・暗号化は何をすれば良い？
- ・鍵の管理は？



ユーザ企業

Trend Micro SecureCloudで クラウドサービスにデータを預ける不安を解消

<概要>

- ・クラウド上のデータを暗号化により保護
- ・セキュアな鍵管理 / 配信機能を提供

<特徴>

- ・クラウドに最適化
= SaaS型でクラウドと一体化して提供
- ・運用の手間が掛からない
= 管理の手間を最小化
- ・低い導入障壁
= 企業内ユーザは暗号化を意識しない



特徴① SaaS型でクラウドと一体化して提供



技術提供

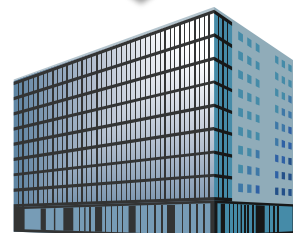
クラウド事業者

インテグレータ

クラウドサービスと
一体で提供

クラウドサービスのメリットを享受

- 初期投資不要
- 迅速なサービス開始、伸縮性の確保
- 管理コストの低減



ユーザ企業



特徴②-1 管理の手間を最小化

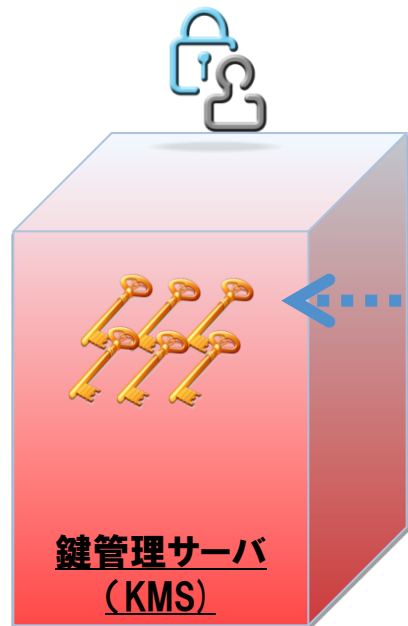
鍵管理サーバとエージェントが仮想サーバとデータボリューム単位の認証を実施

SecureCloudエージェント



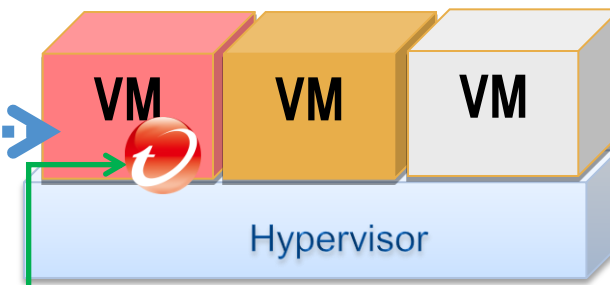
=SecureCloudエージェント

- 仮想サーバ(VM) にインストールされるエージェント
- VM起動時に鍵管理サーバへ鍵のリクエストを行い、鍵の受け取りを行う

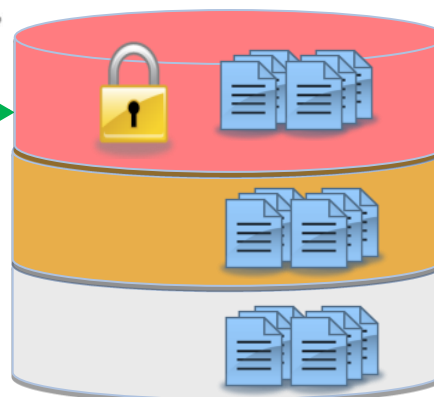


鍵管理サーバ
(KMS)

鍵管理サーバ(KMS)



Hypervisor

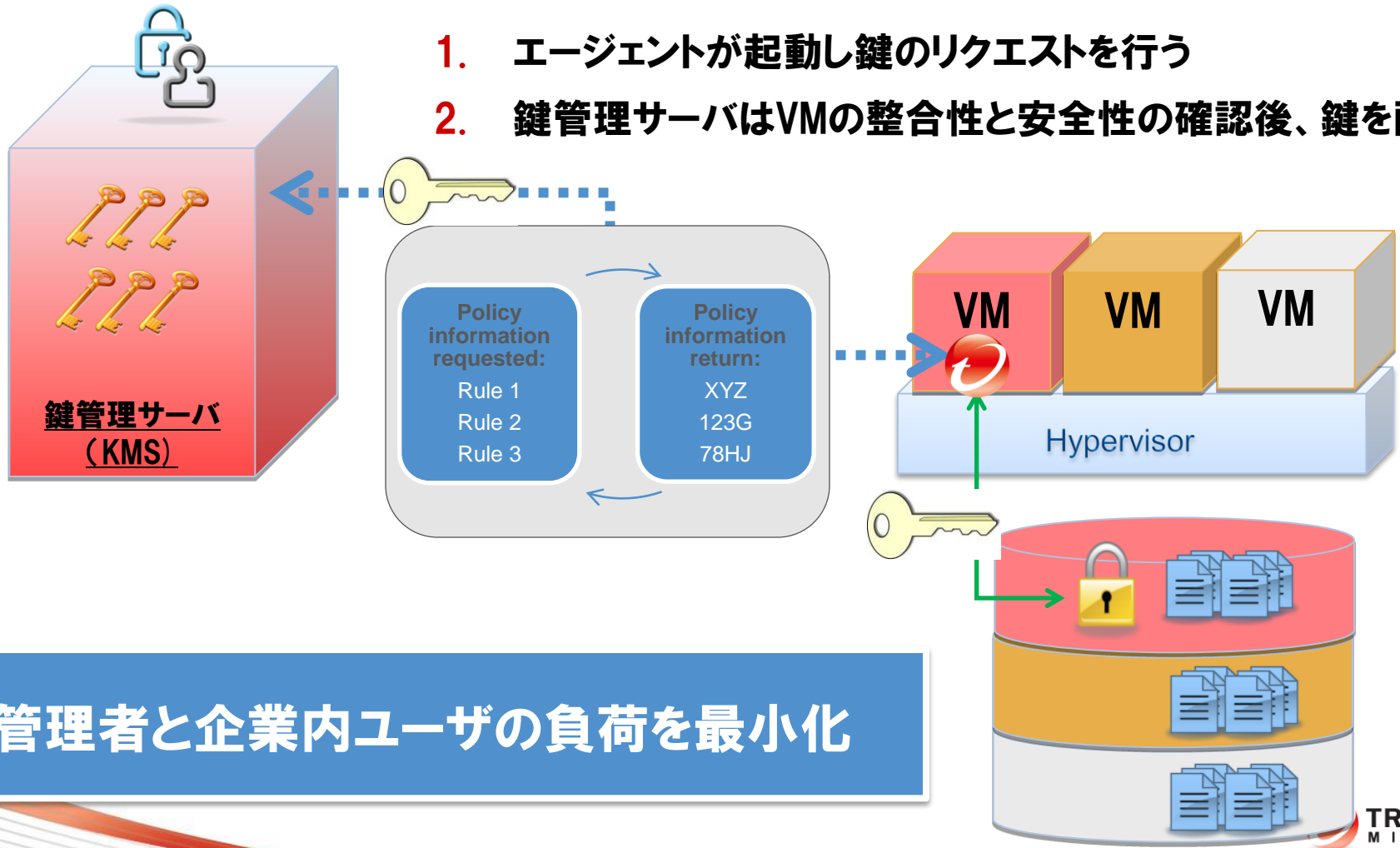


- データ暗号化に使用するすべての鍵の管理と鍵利用に関するポリシー制御の機能を一元的に提供するサーバ

特徴②-2 管理の手間を最小化

ユーザーの介在しない自動化された認証と鍵配信

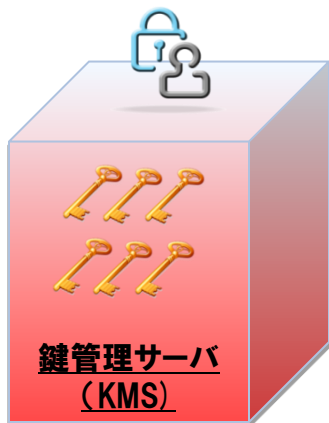
1. エージェントが起動し鍵のリクエストを行う
2. 鍵管理サーバはVMの整合性と安全性の確認後、鍵を配信



管理者と企業内ユーザの負荷を最小化

ポリシー設定の例

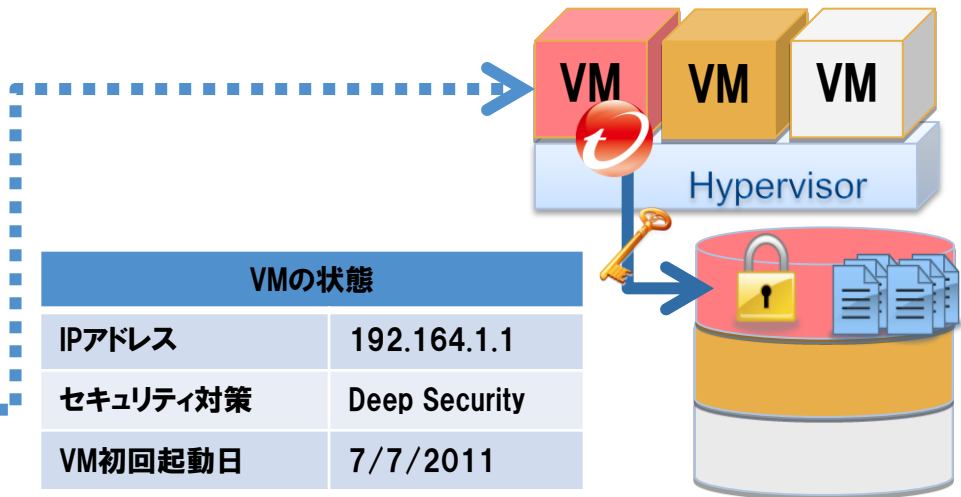
ルール	値
IPアドレス	192.164.1.1
セキュリティ対策	Deep Security
VM初回起動日	7/7/2011



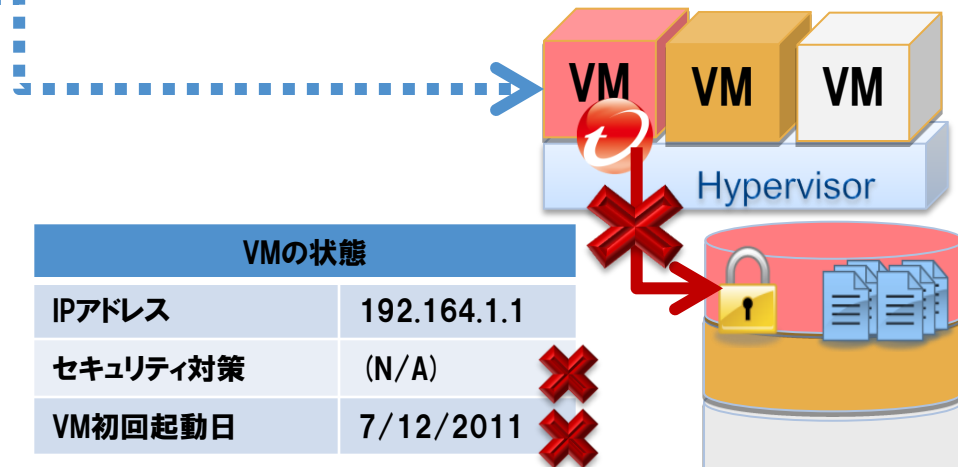
アクセスOK



アクセスNG



VMの状態	
IPアドレス	192.164.1.1
セキュリティ対策	Deep Security
VM初回起動日	7/7/2011



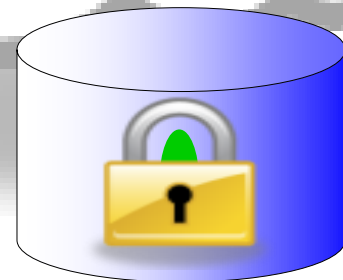
VMの状態	
IPアドレス	192.164.1.1
セキュリティ対策	(N/A)
VM初回起動日	7/12/2011

特徴③ 企業内ユーザは暗号化を意識しない



暗号化／復号化はクラウド内で自動実行

ユーザーは従来通りアプリケーションを利用
管理部門は教育等の手間が不要



暗号化された
保存データ

SecureCloudが対応するクラウドプラットフォーム



Amazon EC2

Eucalyptus Systems

Eucalyptus 1.6/2.0

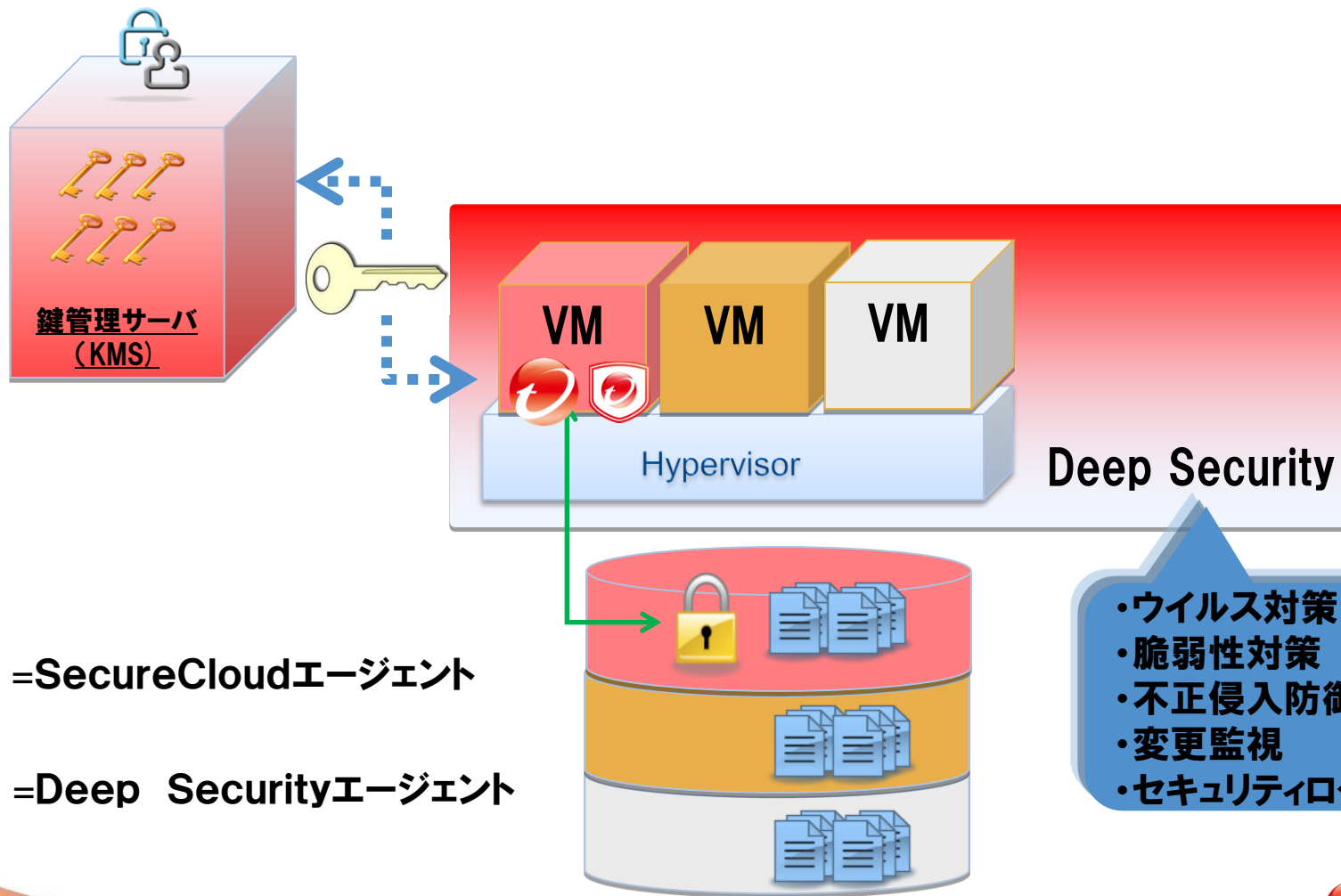


VMware vCloud v1.0、vSphere

上記以外のクラウドプラットフォームと連携するためにAPIを提供

Trend Micro Deep Securityとの組み合わせでセキュリティ強化

暗号化されたボリュームにアクセスする仮想サーバを守ることで
より強固なセキュリティを実現



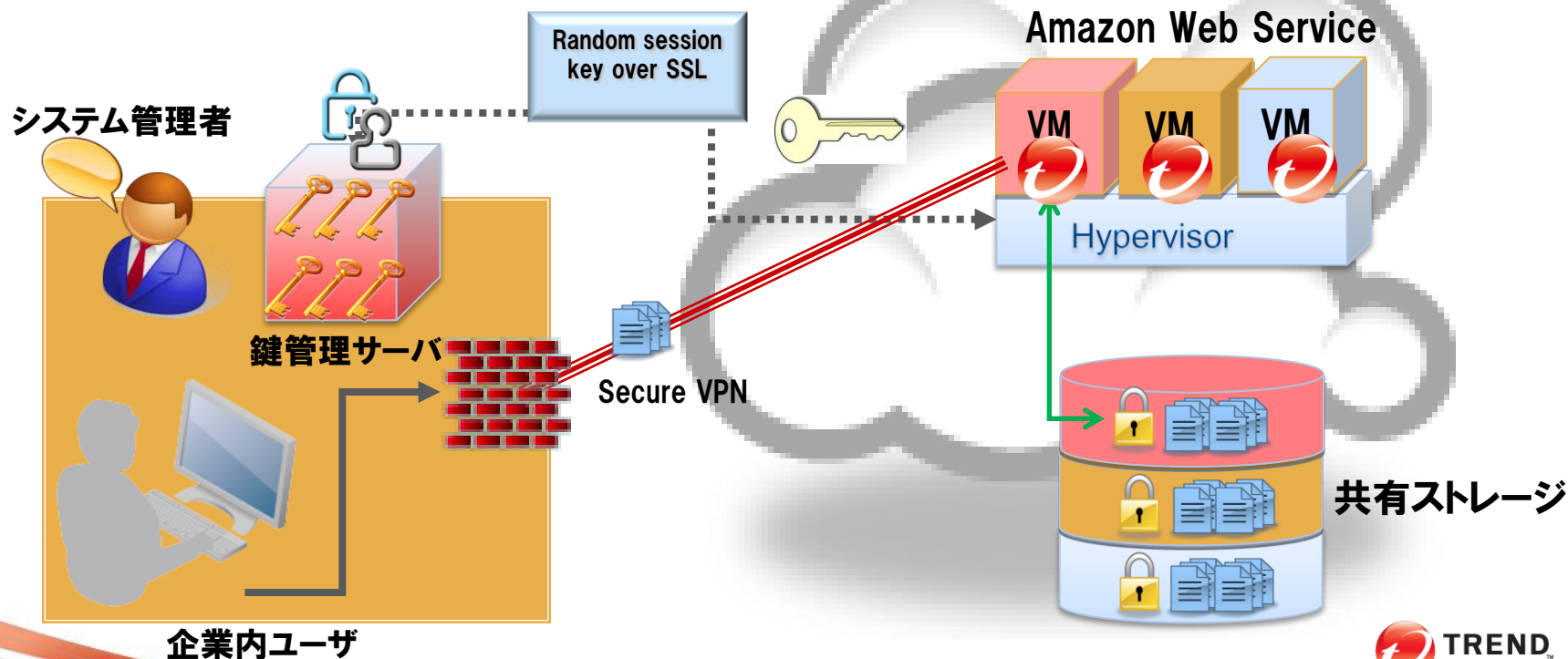
 =SecureCloudエージェント

 =Deep Securityエージェント

- ・ウイルス対策
- ・脆弱性対策
- ・不正侵入防御
- ・変更監視
- ・セキュリティログ監視

海外のSecureCloud導入事例

- 顧客: 航空会社(US)
- AWS採用理由: 自社構築よりコストメリットが高い
- セキュリティ要件: ゲストOSサーバ、データ保護
- SecureCloud採用理由: 従来の暗号鍵交換方法に比べ鍵管理が容易
- 購入ライセンス: 1,000 key
- その他: Deep Securityとの組み合わせでセキュリティを強化



想定されるSecureCloudの使用例

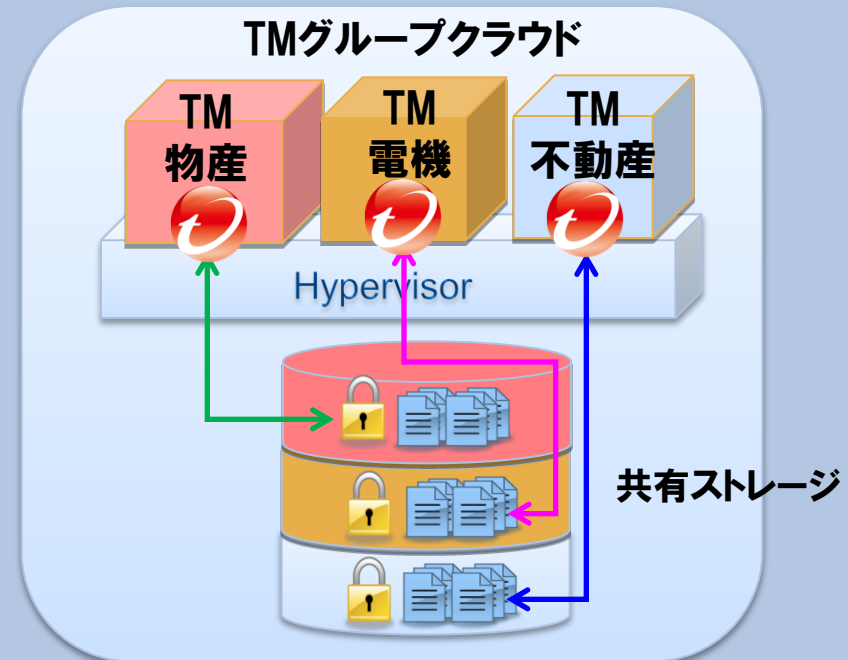
ソフトウェア開発企業の例

- ・オンプレミスの開発環境からクラウドを併用した開発へ
- ・クラウドに保存する知的財産（ソースコード）をSecureCloudで保護



グループクラウドの例

- ・グループ企業間でのクラウド基盤の共有
- ・SecureCloudで企業間のデータアクセスを適切に制御



鍵管理サーバとエージェントで構成する
クラウド環境に最適化したデータ保護ソリューション

Trend Micro SecureCloud

- ・クラウド上のデータを暗号化により保護
- ・セキュアな鍵管理 / 配信機能を提供

導入が容易な
SaaS型

管理の手間を
最小化

ユーザは
意識しない

クラウドにデータを預ける不安を解消



Securing Your Journey to the Cloud

